本木・関原地区

都市復興シミュレーション NEWS VOL.3

災害後の復興について みんなで話し合いました

足立区都市復興シミュレーション

第３回を実施しました

２つの復興案について、参加者が６グループに分かれて意見交換しました。

詳しくは裏面へ

全４回のワークショップでこのまちの都市復興を考えます

〈対象地区〉

【出典：国土地理院ウェブサイト】

都市復興シミュレーション全４回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。

第1回 6月29日(土)

都市復興シミュレーション実施の意義と生活再建について学ぶ

第2回 11月23日(土)

“仮想まちあるき”を通じた地域の再確認（課題・資源の整理）を行う

第3回 1月19日(日)

復興目標・復興方針・復興計画(案)について考える

第4回 2月15日(土)

復興目標・方針(案)をまとめる

復興目標・復興方針の作成

1/19　第3回　足立区都市復興シミュレーション　で話し合ったこと

■被災後の復興まちづくりのイメージ

１案：通常の堤防のまま復興する案

イメージ図

■通常の堤防形状のまま、背後地の建物の強靭化（高層化、耐震化等）、道路の拡幅等を実施することで災害に強くする提案です。

２案：高規格堤防を整備して復興する案

イメージ図

■１案の内容に加えて、堤防とその背後地を盛り土により一体化した高規格堤防を整備することで災害に強くする提案です。整備範囲は堤防高さの約30倍の幅で計画します。

■参加者のご意見　※一部意見を抜粋しています。

【通常堤防案に対して】

■高いビルで垂直避難できるのは良いと思います。
■道路を拡幅する際は、迷路のようにはせず、なるべく真っすぐにしてほしいです。

【高規格堤防案に対して】

■地盤の改良にもなり、高規格堤防化は賛成です。
■荒川沿いの水辺と公園の連続性の確保や一体化を図ってほしいです。

▼ 意見交換

▲ 意見交換の内容を発表

【お問い合わせ】
足立区都市建設部都市建設課　國井・佐伯
TEL：03-3880-5280
メール：tosikeikaku@city.adachi.tokyo.jp

復興 このまちの未来を私たちで

知ると分かる。すると変わる。 SDGs MODEL ADACHI